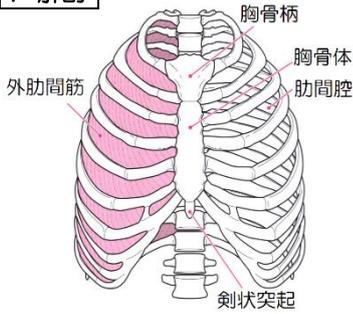
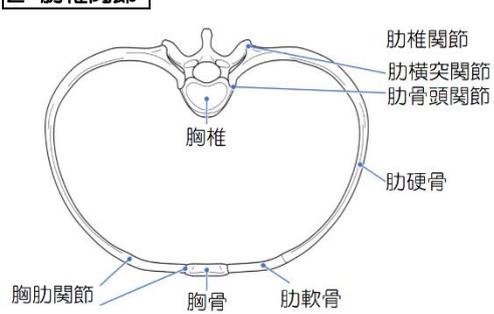


① 胸部損傷

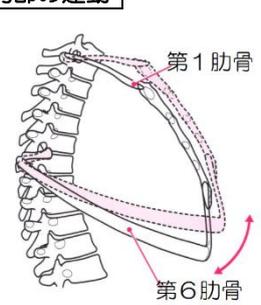
1-解剖



2-肋椎関節



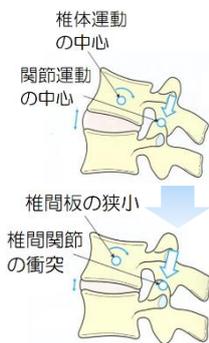
3-胸部の運動



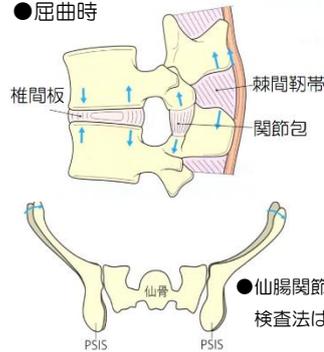
主な疾患	特徴/症状	鑑別を要する疾患
胸肋関節損傷	●打撲等により胸肋関節付近の筋損傷が発生したもの。	●→
肋間筋損傷	●胸部損傷で最も多い ●回旋痛 ●主な症状→	●→

② 腰痛症（LBP）

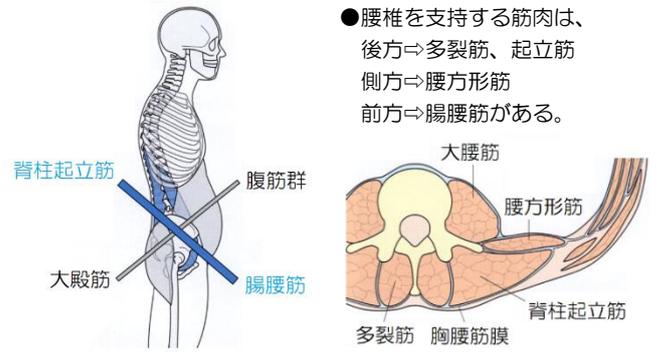
1-椎間関節について



2-靭帯の負荷について



3-下部交差症候群と主な筋肉



分類	概要/特徴
1 関節性	a. 椎間関節 ●いわゆるギックリ腰（捻挫腰椎） ●別名→
	b. 椎体間連結 ●はっきりしない腰部鈍痛と臀部痛 ●要鑑別→
2 靭帯性	a. 椎骨部 ●過度の屈曲で発生 ●棘間靭帯の炎症→
	b. 仙腸関節 ●仙腸関節部や臀部の疼痛 ●疼痛誘発テスト→
3 筋・筋膜性	●筋内圧上昇による局所の循環障害 ●疾患名→ ●臀部の筋では坐骨神経障害が発生 ●疾患名→

③ 腰椎椎間板ヘルニア（LDH）

1-概要

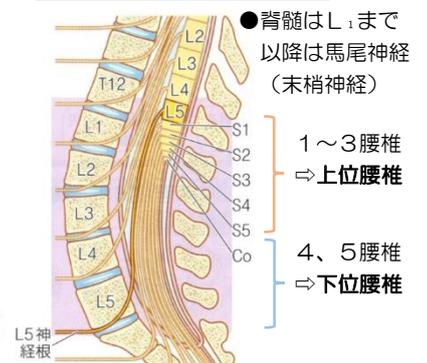
- 20～40代の男性に好発する。
- 中腰での重量物挙上、スポーツなど急激な運動で発症。
- 咳やくしゃみ、排便時のいきみにより症状が増強する。
- 前屈時に症状が増強しやすく、脊柱管狭窄症と要鑑別。



2-疼痛性側弯

- 疼痛を和らげる為ヘルニア側と対側に側屈する。

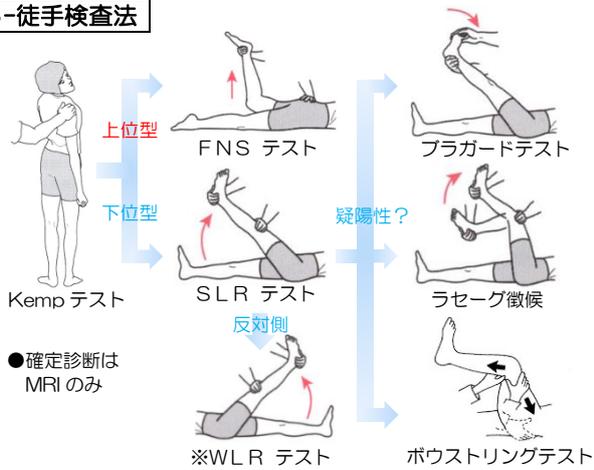
3-腰椎高位と脊髓の関係



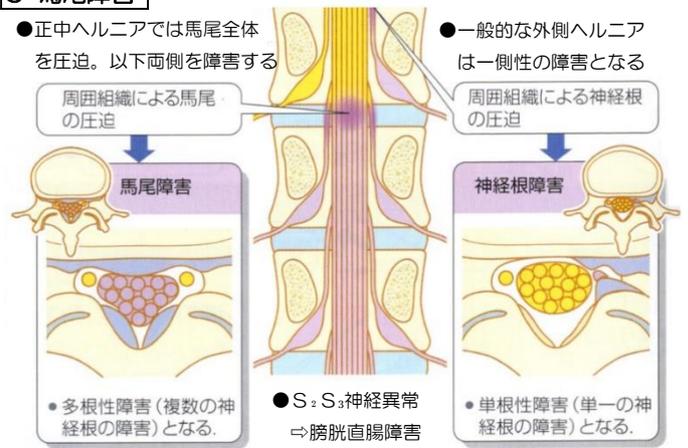
4-神経支配



5-徒手検査法



6-馬尾障害



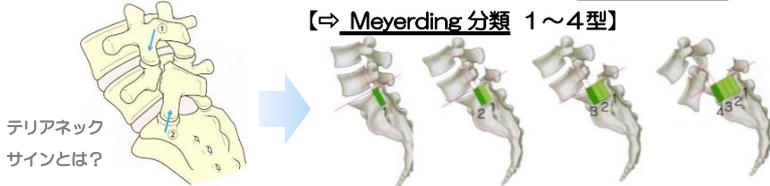
脊椎高位	上位椎間板ヘルニア	下位椎間板ヘルニア	
症状概要	大腿神経症状	坐骨神経症状	
ヘルニア高位	第3/4腰椎	第4/5腰椎	第5腰椎/第1仙椎
障害神経根	●→	●→	●→
知覚障害	●大腿から下腿内側	●下腿外側から足背	●下腿後面から足底
筋力低下	●大腿四頭筋 / 前脛骨筋	●前脛骨筋 / 長(母)趾伸筋	●下腿三頭筋 / 長(母)趾屈筋
深部腱反射	●→	—	●→
徒手検査法	●→	●→	
ヘルニア位置	外側	●神経根障害 ⇒ 障害高位の一側性の症状として上記症状が出現する。	
	正中	●馬尾障害 ⇒ 障害高位より下位両側性に症状発生。●両下肢/会陰部の知覚障害や→	

④ 脊椎分離症

1-概要

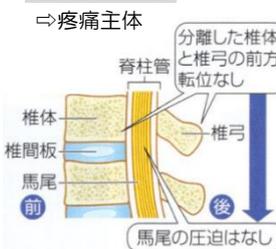
- スポーツ活動をする10代男子に多い椎弓の疲労骨折。
- “後屈痛”や叩打痛が出現し、椎体のすべりを生じると“階段状変形”を呈する。

【⇒ Meyerding 分類 1~4型】



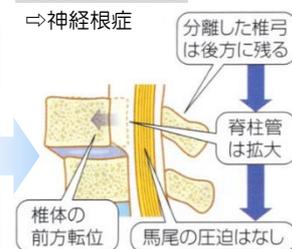
【腰椎分離症】

⇒疼痛主体



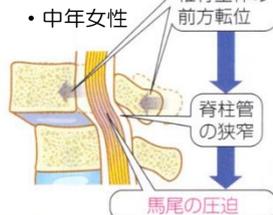
【分離すべり症】

⇒神経根症



【変性(無分離)すべり症】

⇒馬尾障害



⑤ 脊柱管狭窄症 (LCS)

1-概要

- 脊柱管が狭くなる中高年に多い疾患。ヘルニア/黄色靭帯肥厚/すべり症が要因
- “間欠性跛行”を呈する

